

全国

検数労連

728号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港

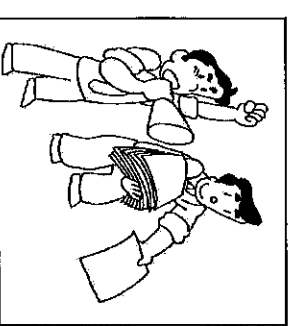
福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局



2月27日・28日、横浜波止場会館で若手執行部を対象とした全国学習会を開催しました。

学習会の講師には全国港湾五田書記長と横浜港湾労協二空副議長を招き、玉田書記長からは『22春闘の経過を経ての23春闘の運動の意

義』二空副議長からは『港湾と平和の関係性、港灣を兵站基地にさせない運動の意義』などを講義していただき

ました。参加者からは、23春闘は長期化した22春闘の経過を踏まえただ中で大幅賃上げを

実践していく春闘となつていくことが分かりやすく説

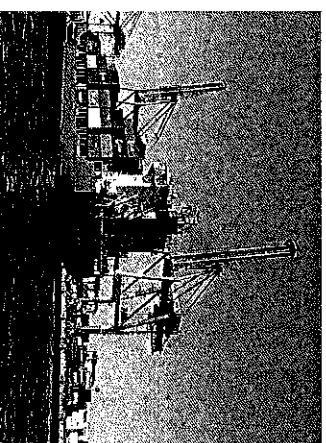
明されて、春闘闘争に対する理解が深まったなどの感想が多く寄せられました。

平和課題では、戦争が起すれば、まず先に標的になるのが物資の集まる『港』である

の、港灣で働く我々も強制的



23春闘検数労連学習会を横浜で開催！



に荷役労働を科されて、戦争に巻き込まれる危険性があるといつことを知ったどの

声が聞かれました。28日には、船に乗って横浜港を見学。我々の職場である港灣を海側から見るとも

貴重な経験だったことと思います。横浜港見学の後は、再び会場を波止場会館に移し、『職

野並み満額回答を提示している。中小企業においても頑張

って大幅賃上げを出している企業が多数ある。検数協会の

も港灣産別の経過等に捕らわれることなく主体性を持つ大に向けた取り組みなどが参加者から出され、それぞれ

のますが、終息標回に向かっている状況であれば、参加者を広く募って開催して

第4回 検数労連23春闘交渉 内部留保を吐き出して大幅賃上げを！

3月16日(木)第4回検数労連23春闘交渉で、組合は向

協会に対し有額回答構築に向

けた考え方の披歴を求めました。しかしながら、激激な物価高騰や世間的に拡大して

いる賃上げアード、22春闘で不十分だった賃上げに対する

従業員の手チベーションの低い段階であり、回答方式も

含む詳細な内容は披歴できる段階ではないとの回答に止ま

りました。組合は次回交渉での有額回答を控えた中で、同協会に対し、次の通りの主張を行い有額

いすれにせよ、収支状況の悪化を従業員に転嫁せず、引き続き西協会の顧客である元

請け事業者に現金転嫁してもらうよう努力をしてほしい。

23春闘全般の回答を見てみると、大手荷主メーカーは

軒並み満額回答を提示している。中小企業においても頑張

って大幅賃上げを出している企業が多数ある。検数協会の

も港灣産別の経過等に捕らわれることなく主体性を持つ大

に向けた取り組みなどが参加者から出され、それぞれ

の、港灣で働く我々も強制的に物資の集まる『港』である

が多くの感想が多く寄せられました。

平和課題では、戦争が起すれば、まず先に標的になるのが物資の集まる『港』である

【23春闘愛知自動 車子王開催】

2月26日(日)名古屋市港

区稲永(福祉センター)から中区三の丸(愛知県庁)までの約15キロの自動車子王を行いました。

名古屋から、実行部と青年部の13名が、集会から自動

車子王まで参加しました。集会で尾崎部長の「交通・運輸産業の労働環境は行き

過ぎた規制緩和によって低賃金、長時間労働が常態化している。このままでは物流停滞が起

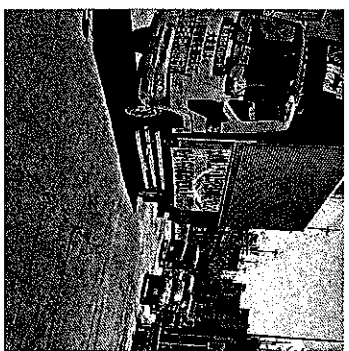
きる。適正賃金の収受で、労働力不足の解消、魅力ある産業に

していくことが必要と力強い挨拶が行われました。適正料金収受に向けた取り組みは検数春闘にも繋がって

いくことを青年部をはじめ執行部としても再認識し、今後

も港灣だけでなく世論を巻き込めるような取り組みの強化

を名古屋支部として継続していきだしてきておられます。



次回交渉：第5回検数労連23春闘交渉3月29日14:30～

次回交渉での有額回答を約束、地域闘争委員及び組合員は要注目！